

Season 2

ぜっ校長！

第4号・・・あっという間に5月？！

平成30年5月2日(水)明日から4連休！

稲羽中学校 校長 江口 雅明

☆授業参観、PTA総会、ありがとうございました！

▼先週、4月27日(金)、授業参観・PTA総会・学年懇談会を行いました。ご多用の中、たくさんの保護者の皆様がお越しく下さいました。ありがとうございました！今年度の稲羽中学校の学級担任の授業を参観していただきましたが、お子さまは笑顔で元気いっぱい授業に取り組んでいましたか？お子さまを安心して任せていただける、頼もしい学級担任でしたか？私にとっては、稲羽中学校の職員



は、稲羽の子どもたちをどこまでも想い、その成長のために責任をもって指導していただける職員であると誇りに思っています。どうぞ今年度も、保護者の皆様のご理解とご協力、そしてご支援をよろしくお願いします。▼PTA総会では、校長として、「夢と笑顔があふれる学校にするために」と題して、保護者によるお子さまのスマホ等の管理についてお願いをさせていただきました。これは、昨年度6月に保護者に配付させていただいた「緊急メッセージ」に基づくものです。裏面に参考資料として載せさせていただきますので、今一度ご確認いただきますようお願いいたします。**あなたのお子さまは、本当に大丈夫ですか？**

☆4月、自己ベスト更新はありましたか？

▼今年度の始業式・入学式で校長として掲げたスローガンは「めざせ、自己ベスト更新！」でした。さっそく、昨日全校に「校長発ミニ・アンケート」を配付しました。4月の「自己ベスト更新」をたくさんを集めて、皆さんにお伝えし、5月の「自己ベスト更新」につなげたいと考えています。校長室の前にアンケート回収箱を設置しましたので、入れに来てね！



☆“味のある”って、どんな“味”・・・？ 【校長日記②】

▼先日、職員室に来られた保護者のお一人が、帰り際に校長室のドアをノックされました。気の弱い私は、(何かクレームかなあ?)とドキドキしながらドアを開けると、「校長先生、昨年度の『ぜっ校長』の第〇号だけが、どれだけ探してもないんですよ。」なんておっしゃるものですから、喜んでそのコピーを差し上げました。頑張ろうと思いました。▼同じく先日、PTAの役員会があり、その中のお一人がおっしゃいました。「校長先生、今年も『ぜっ校長』出されるんですね。なかなか“味があって”私は好きです！」嬉しくなって、家に帰ってから、妻に話しました。「ぼくが出している校長通信を楽しみに読んでくれる保護者もいらっしゃるんだ。今日なんか、“味がある”ってほめられちゃったよ。どんな“味”かなあ？」妻は答えました。「カレー(加齢)味じゃないの」・・・負けずに頑張ります！

※「味のある」＝ 趣や味わい深さがあることなどを意味する肯定的な表現

【参考】昨年度配付した資料

平成29年6月30日

稲羽中学校の保護者の皆様

各務原市立稲羽中学校
校長 江口 雅明

スマホ等に関する緊急メッセージ

4月から学習に、学校・学年行事に、そして部活動に、生徒たちは生き生きと取り組んでいます。いよいよ中体連大会も始まります。日頃より学校の教育活動に対しまして、深いご理解と温かいご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、今年度も3ヶ月が経とうとしていますが、生徒たちの生き生きとした学校生活とは裏腹に、最近、スマホ等による、特に LINE（ライン）やツイッター等での他人を誹謗中傷したり、集団で特定の生徒を攻撃したりするような事例が頻繁に起きており、学校（職員）が多数の生徒から事情を聞いたり、家庭訪問をしたりして、問題の早期発見・早期対応に努めているという現状です。

そもそもスマホ等は保護者がお子さまに買い与えたもので、その使用に関するルールやマナーについては保護者が教えるべきものです。しかし、それによってトラブルが生じると「学校は何を指導しているのか」と問い詰めてこられる保護者もいて、学校（職員）としては不条理さに苦しみます。他の学校では被害者が不登校になってしまうなど、事態が重篤化し、緊急のPTA総会を開かなければならなくなっているとも聞いております。無責任な言い方に聞こえるかも知れませんが、家庭に帰ってからや休日等、すなわち学校の教育活動外の時間帯に生徒間で繰り広げられている LINE（ライン）等でのやりとりによって発生したトラブルに、なぜ学校（職員）の本業でもない生徒指導対応や保護者対応に膨大な時間をとられなければならないのかと思うことがたびたびあります。

学校では、生徒に対して、次のような指導を継続的に行っています。

- ① ネット上に他人の悪口を書き込んだり、写真等の個人情報を流出させることは犯罪である。
- ② ネット上に書き込まれた情報（文章、写真）は永久に残る（消せない）。
- ③ 拡散された情報（文章、写真）は、想像をはるかに超えたスピードで、世界中に広がっていく。
- ④ トラブルが発生し、「被害者」と「加害者」との関係が成立すれば、刑事事件さらに民事訴訟に発展する。
- ⑤ 中学生は何の責任も果たせないなので、すべての責任を保護者が負うことになる。

保護者の皆様方をお願いします。安易にスマホ等をお子さまに買い与えないください。すでにお子さまにスマホ等を買っていらっしゃる保護者の皆様は、お子さまがどのように使っているかを一度点検してみてください。さらに、定期的に点検してくださるなど、お子さまとの約束作りに努めてください。万が一、お子さまがいじめ“加害者”となったら、その責任をとらなければならないのは保護者です。

稲羽中学校は、今後も、いじめによる「被害者」も「加害者」もない、安心して生活できる学校づくりに努めてまいります。どうかよろしくお願いします。